

戦争法廃止 決意新た

「19日行動」に9500人

総がかり
実行委

戦争法の採決強行から1カ月となる19日夜、全国各地で戦争法廃止、安倍政権退陣を求める行動が広がりました。国会前の集会では、「今日が新たなスタート」「必ず廃止に追い込む」との発言が相次ぎ、9500人（主催者発表）の参加者は「安倍政権をみんなで倒そう」「野党がんばれ」「われわれもがんばるぞ」とコールしました。

↓関連動画

国会前



戦争法廃止と安倍内閣退陣を求める声あがる人々19日、国会正門前

呼びかけは「総がかり行動実行委員会」。番号を換えた向かい側にも多くの人があふれ、「戦争法廃止」「野党は共闘」と書かれたプラカードを掲げます。

主催者団体からあいさつがありました。高田健さんは、戦争法廃止を求める2000万署名を参院選前までに必ずやり抜くため、全国津々浦々で始めようと呼びかけました。決意を新たに頑張りましょうと呼びかけました。

野党の国会議員や、各界からの連帯あいさつがありました。

「野党が一緒になってたたかってほしい。神奈川県藤沢市に住む山辺一哉さん(52)は語ります。「成立させられなくても、これだけ多くの人が参加している。あきらめることなく廃止を訴え続けます」

友人6人と参加した、東京都新宿区の北中瀬江さん(69)は「強行採決された日のごほうびでも忘れられませぬ。安倍政権が続く限り、これからも行動を続けます」と話しました。

三重県四日市市から参加したという田中秋則さん(43)は「国民は戦争法を認めていないということを示したくて来ました。私たちの声で野党を後押しして、必ず廃止に追い込みます」

「これまで、選挙にあまり行かなかった。千葉県我孫子市の女性(64)はいます。「こんな時代になるとは思っていなかったからです。今は反省しています。この息苦しい時代を変えたい。デモにも選挙にも参加します」と語りました。

「未来に向かって団結する」
山下書記局長が連帯あいさつ
あいまつした日本共産党 山下氏は、戦争法反対の山下芳生書記局長は、諸団体と野党の意見交換会(16日)に言及しました。戦争法と集団的自衛権の政治の大義はありませぬ。実現のために、いろいろの政治のために、選挙で安倍政権を打ち倒し、国民の手で新しい政権をつくらせようという「新しい目標」で一致したほか、「国民連合政府」もた。

大きな話題となりました。つれいことと紹介。「新しい政府をみなさんと一緒に打ち立てるために、誠実に真剣に話し合いを野党間でも続けていきたい」と訴える。参加者から「よし」「野党がんばれ」などの歓声が上がりました。

10/20 志雄